



札幌証券取引所  
SAPPORO SECURITIES EXCHANGE



証券コード 7643



# 第63期 年次報告書

平成28年10月1日～平成29年9月30日

株式会社 **ダイイチ**

いい街 いい人 いい笑顔  
フレッシュ&ハート ダイイチ



平成28年

10月

11月

12月

平成29年

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

八軒店 11月25日  
リニューアルオープン



札幌店 7月28日  
リニューアルオープン  
オープンショーケース総入替



AJSチェッカーフェスティバルで  
敢闘賞受賞



7月13日、加盟しているAJS（オール日本スーパーマーケット協会）主催のチェッカーフェスティバルが行われ、当社から出場した葛西彩夏さんが敢闘賞を受賞しました。

葛西さんは、普段の自然な接客対応と技術力、好感度や応用力のそれぞれにおいて優れていた7人の一人に選ばれました。

とくし丸が出発しました



7月26日、地域貢献活動の一環として、毎日の買い物に苦勞されている高齢者の方やお身体の不自由な方々の一助になることを目的として、「移動スーパーとくし丸」が出発しました。移動販売車に積み込む商品は約400品目。冷蔵庫や冷凍庫も備えており刺身や魚介類も販売しています。地域ごとに週1～2回、巡回しています。介護施設の訪問を始めてからは、施設の方の負担軽減につながるなど、利用者と事業者双方から喜びの声が上がっています。新年度の10月19日には、札幌で2号車が出発しました。鈴木社長は「まずは地元の帯広を固めたい。今後は1～2年で10台ほどに増やしたい」と話しています。

## 売上高

平成29年9月期

390億円



前期(平成28年9月期)

383億円

## 配当金

平成29年9月期

20円

前期(平成28年9月期)

18円

## 店舗数

平成29年9月期

22店舗

前期(平成28年9月期)

22店舗

## 営業利益

平成29年9月期

13億円



前期(平成28年9月期)

13億円

## ROE (自己資本利益率)

平成29年9月期

19.5%

前期(平成28年9月期)

9.5%

## 従業員数

平成29年9月期

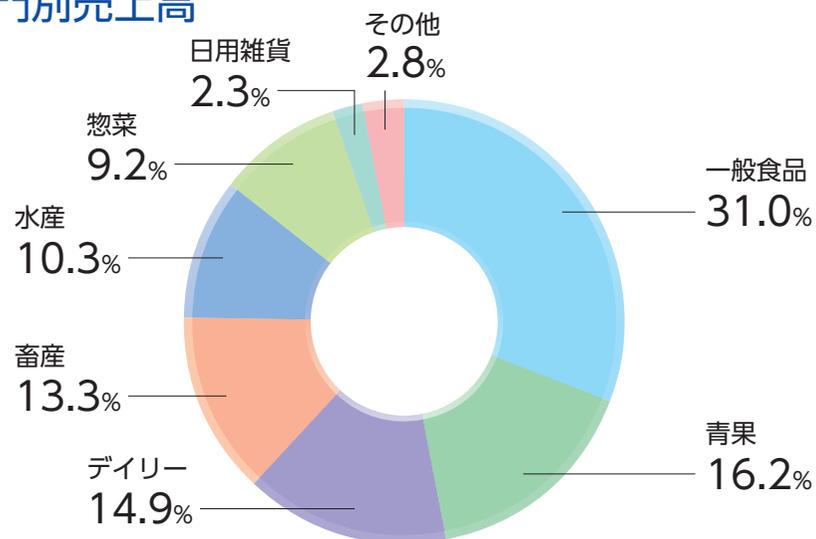
1,349人 (うちパートナー社員等 1,066人)

前期(平成28年9月期)

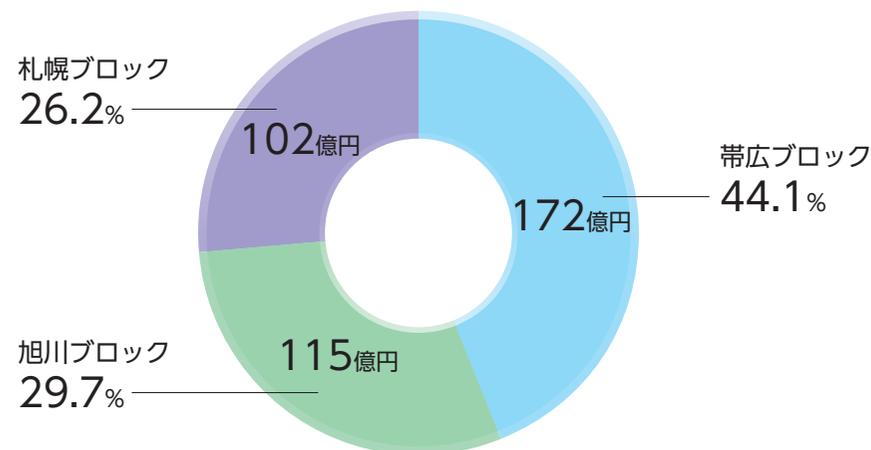
1,377人 (うちパートナー社員等 1,092人)

(パートナー、アルバイトは8時間換算)

## 部門別売上高



## 地域別売上高



※平成29年9月期から完全子会社を吸収合併したことにより単体となりました。前期(平成28年9月期)は、連結の数字を記載しております。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第63期（平成28年10月1日から平成29年9月30日まで）のご報告を申し上げます。

代表取締役社長

鈴木達雄

はじめに

当社は、平成28年10月1日に、経営資源の集約と業務の効率化のため、連結子会社の株式会社オーケーを吸収合併いたしました。その結果、当事業年度より単体決算となっておりますが、株主の皆様へ当社の事業の状況を適切にご理解いただくため、過年度は連結の数字を記載しております。

平成29年9月期の決算概要について

当社を取り巻くスーパーマーケット業界は、消費者の将来不安による消費停滞懸念や生活防衛意識による節約志向の高まり、人口減や少子高齢化に伴う需要の減少、最低賃金の上昇と社会保険加入の適用拡大、人手不足を背景とした人件費の増加に加え、同業他社のみならずドラッグストアやコンビニエンスストア等との企業間競争の激化など、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもとで当社は、地域のお客様か

ら最も身近に親しまれ必要とされるスーパーマーケットとして、他社との差別化を図るべく、営業力の強化と顧客の創造に努めてまいりました。また、既存店強化策として、八軒店、札内店のリニューアルを実施いたしました。

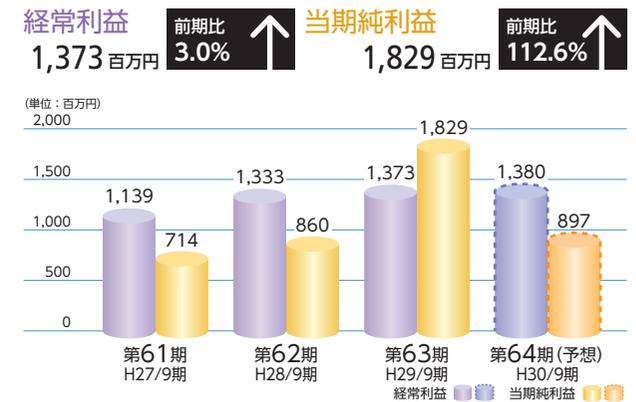
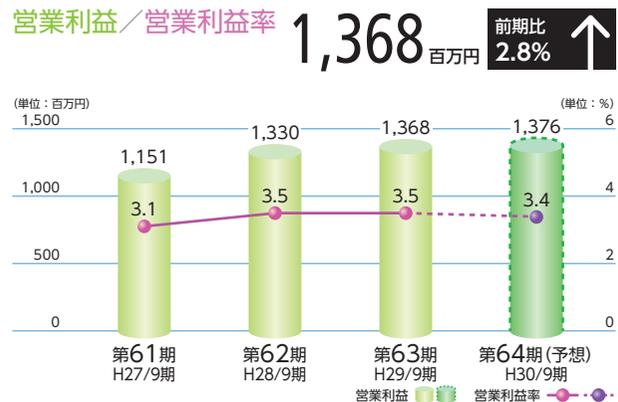
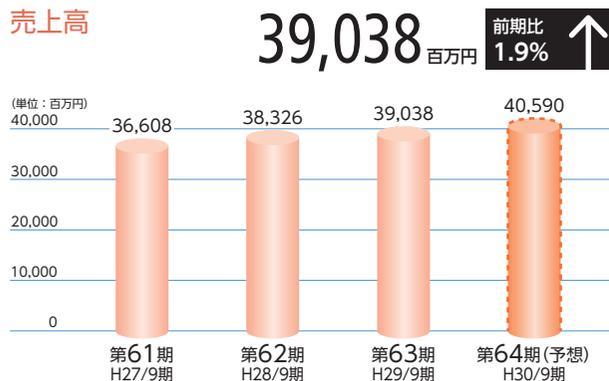
イトーヨーカ堂との取り組みにつきましては、厳しい販売環境において、引き続き情報の共有化を積極的に図るとともに、共同販促の更なる推進と商品の統一を推し進め、店舗競争力の強化と商品力の向上に努めております。

既存店売上高につきましては、価格競争の激化や消費者の購買動向がより慎重な傾向に転じる中で、お客様の立場に立った商品とサービスの提供、販売促進戦略の強化などにより、前期比1.9%増と好調に推移いたしました。

配当方針について

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。財務体質の強化と安定

決算ハイライト



※平成29年9月期から完全子会社を吸収合併したことから単体となりました。平成28年9月期までは、連結の数字を記載しております。

(注) 第63期の当期純利益は、連結子会社である(株)オーケーの吸収合併に伴う特別利益957百万円を計上しております。

的な経営基盤の確保に努めるとともに、長期的に安定した配当の継続を基本方針としております。

この方針に基づき当期の期末配当については、前期より2円増配の1株当たり普通配当20円とさせていただきました。

第64期（H30/9期）の配当金は、前期より2円増配の1株当たり普通配当22円を予想しております。

#### 配当金の推移

	第60期 H26/9期	第61期 H27/9期	第62期 H28/9期	第63期 H29/9期	第64期 H30/9期 予想配当
配当額	15円	15円	18円	20円	22円

#### 設備投資の概要について

当事業年度中において実施しました設備投資の総額は、有形固定資産の取得3億72百万円であります。その主な内容は、八軒店及び札幌内店の改装に伴うものです。

#### 次期の見通しについて

### 平成30年9月期業績予想

売上高	405億90百万円	(前期比4.0%増)
営業利益	13億76百万円	(前期比0.6%増)
経常利益	13億80百万円	(前期比0.5%増)
当期純利益	8億97百万円	(前期比51.0%減)

スーパーマーケット業界においては、引き続き厳しい局面が続くものと見込まれます。

このような環境の中で当社は、次の8項目を掲げ、重点実施事項として取り組んでまいります。

- ・既存店の活性化と新規出店の具現化
- ・コア商品の拡大と接客サービスの質の向上
- ・個々人の成長による商品本部の強化と販売促進企画の更なる進化

- ・適正な人員配置による人時売上高・生産性の向上とコンプライアンスの向上
- ・発注精度の向上とロス管理及び在庫管理の徹底による利益率の達成
- ・人手不足への対応と人材の確保
- ・イトーヨーカ堂との共同販促の更なる推進
- ・福利厚生の見直しと人材教育の徹底

新規出店につきましては、10月に旭川において豊岡店を新規出店いたしました。同じ旭川地区で11月に東光店が移転増床いたしました。また、現在、5店舗を展開する札幌地区は、営業効率化の観点から、倍の10店舗へ、売上高200億円体制を目指します。

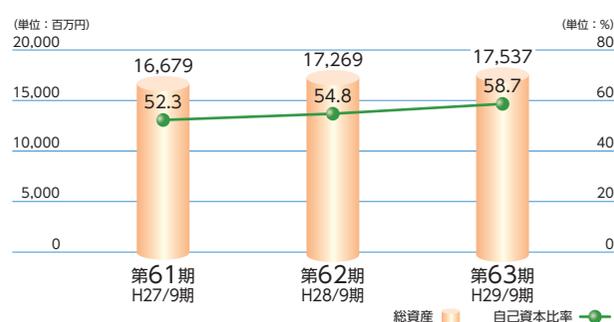
引き続き、現地・現場・現品主義の徹底、出店戦略及び商品戦略の強化、店舗運営の効率化の推進を図り、企業収益の拡大と企業価値の向上に努めてまいります。  
※なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 決算ハイライト

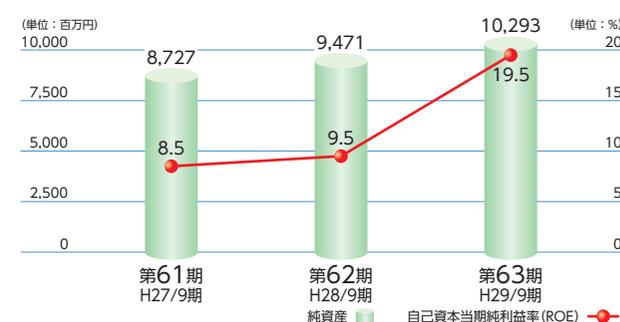
### 1株当たり純資産額(左軸) / 1株当たり当期純利益(右軸)



### 総資産 / 自己資本比率

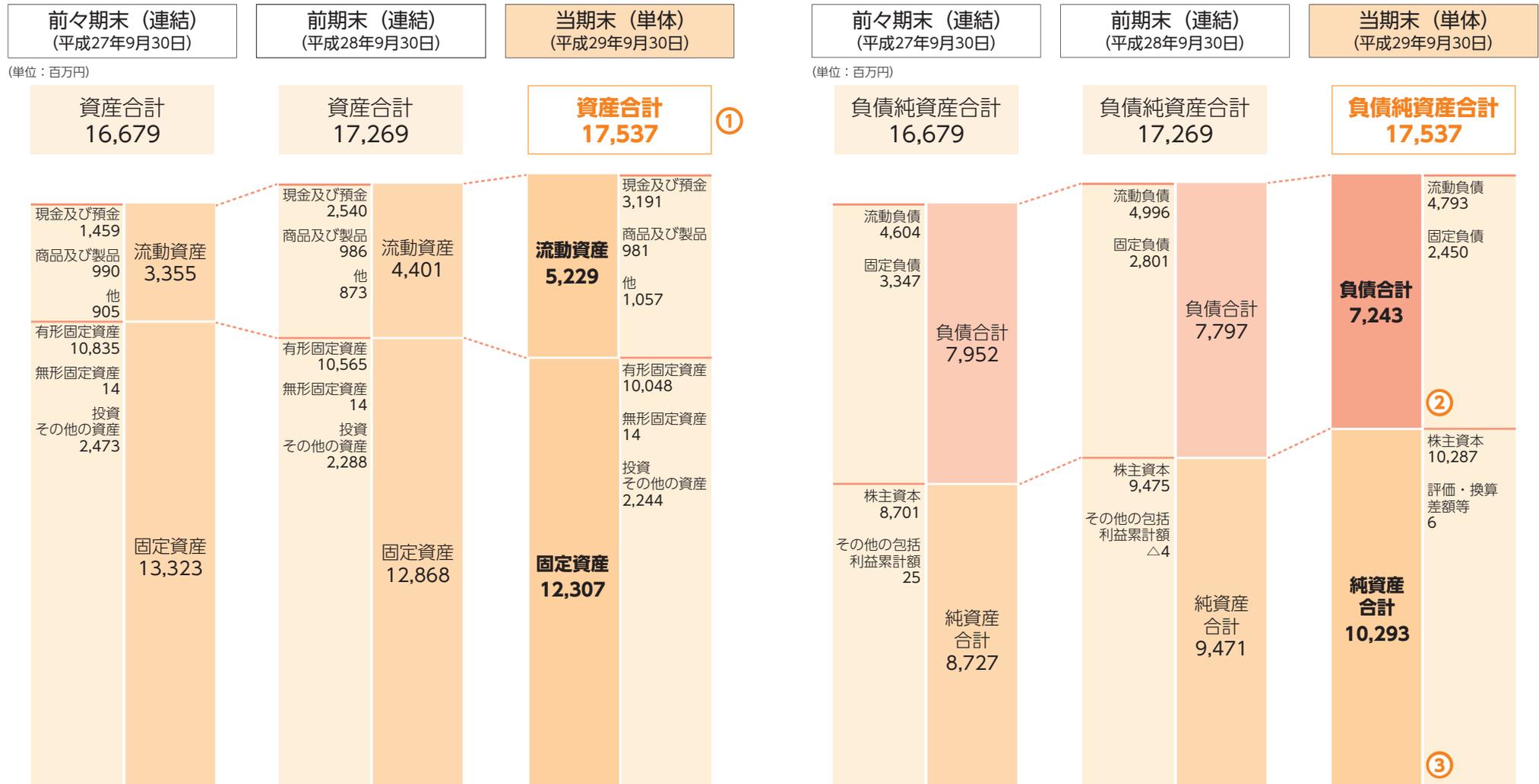


### 純資産 / 自己資本当期純利益率 (ROE)



※平成29年9月期から完全子会社を吸収合併したことにより単体となりました。平成28年9月期までは、連結の数字を記載しております。

貸借対照表 (概要)



**Point①** 当期末は、主に前期に比べ現金及び預金等が増加したため、資産合計が増えました。

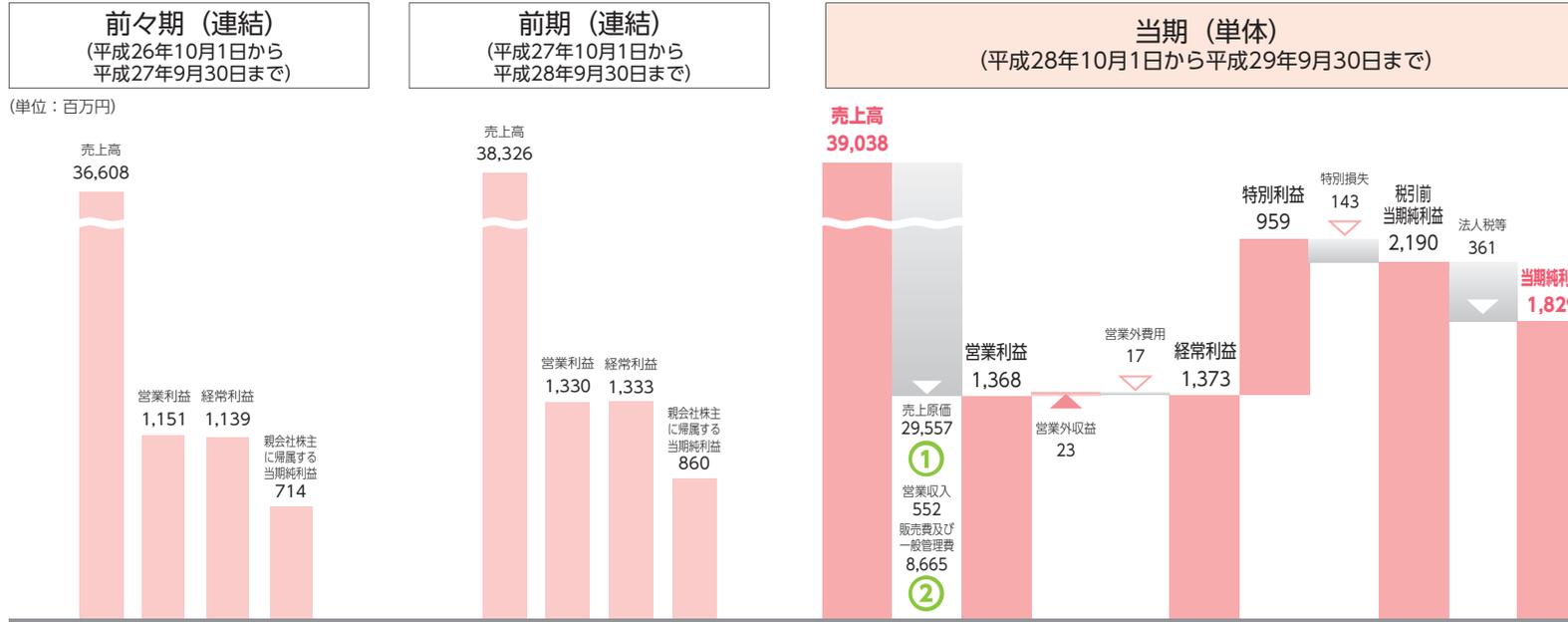
**Point②** 有利子負債の推移

前々期末	1,977百万円
前期末	1,610百万円
当期末	1,229百万円

**Point③** 当期末は、株主資本の利益剰余金の増加により純資産が増えました。

※平成29年9月期から完全子会社を吸収合併したことにより単体となりました。前期、前々期は連結の数字を記載しております。

## 損益計算書 (概要)



### Point①

売上総利益 (率) の推移

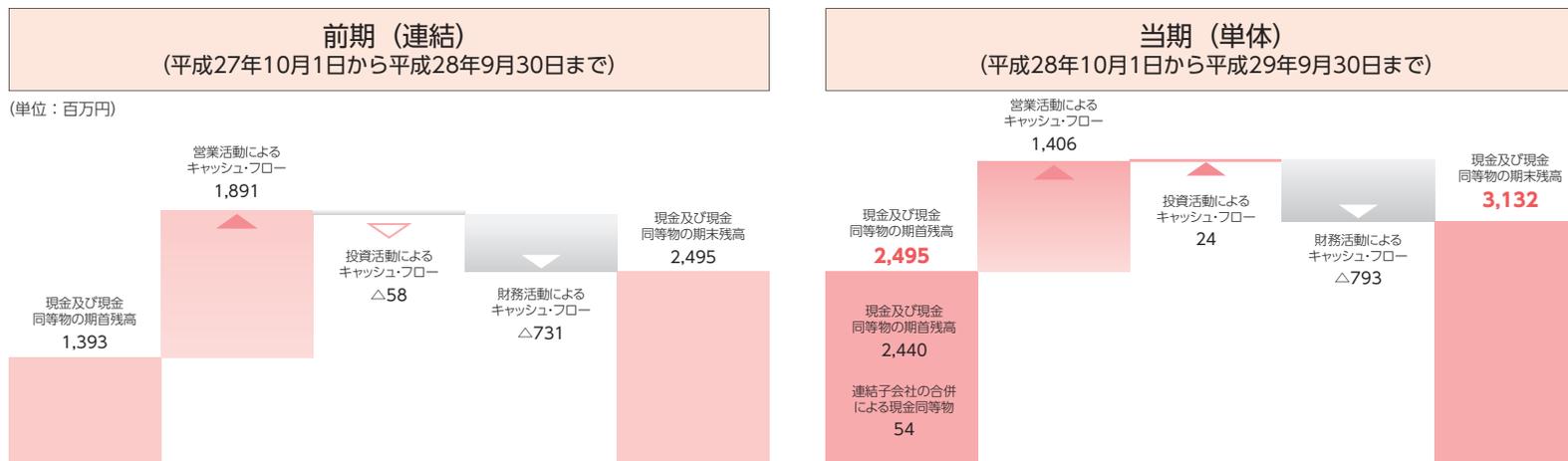
	前々期	前期	当期
売上総利益(百万円)	8,806	9,289	9,481
売上総利益率(%)	24.1	24.2	24.3

### Point②

主な販売費及び一般管理費の推移  
(単位：百万円)

	前々期	前期	当期
給与及び賞与	3,087	3,216	3,285
広告宣伝費	944	939	950
減価償却費	575	590	607
(うちリース資産分)	(258)	(261)	(290)

## キャッシュ・フロー計算書 (概要)



### <キャッシュ・フロー計算書>

期末残高が増えた主な要因

- ・税引前当期純利益 2,190百万円
- ・減価償却費 618百万円
- ・抱合せ株式消滅差益 △957百万円
- ・法人税等の支払額 △383百万円
- ・長期借入金の返済額 △630百万円
- ・リース債務の返済額 △310百万円

※平成29年9月期から完全子会社を吸収合併したことにより単体となりました。前期、前々期は連結の数字を記載しております。

帯広本部でデイリーを担当する加納バイヤーに話をうかがいました。加納バイヤーはデイリーの他に全地区（帯広・旭川・札幌）の酒類バイヤーも兼任しています。

### グロサリーからスタート

-----当社に入社されたのが24歳の時です。入社からの経緯を教えてください。

**加納** 平成15年5月、準社員で「札幌店」のグロサリー（加工食品・飲料等）から始まりました。一年ほど飲料などを黙々と品出しをしていたら、当時の店長から「クリスマスプレゼントをあげる」と言われて。その時に社員になりました。やる気を出させる、格好いい店長だな、と思いました。平成17年からグロサリー主任として、「東店」「めむろ店」「白樺店」と当社が標準化している500坪タイプの店舗で売場作りと数値管理をしていました。平成21年6月に「白樺店」でグロサリー主任と副店長を兼任し、店舗管理を学びました。そして、平成22年1月に「東店」へ店長として異動です。当時、30歳で若輩者でしたが、顔なじみのパートナー社員も多かったため、社員も含めて皆さんに支えられて厳しくも楽しく仕事できました。それから同年9月に競合店対策の強化で「札幌店」へ異動です。現在も他社と競合している激戦地区なので、数値も厳しかったです。

### バイヤーとなって

-----平成23年4月から帯広本部へ異動し、デイリーバイヤーとなりました。

**加納** 加工食品は売場の変化が少ないですが、デイリーは、毎日商品が入荷しアイテム数も多いので、メンテナンスが大変です。帯広地区の店舗が当時8店舗。各店のデイリー主任に売場管理と数値を任せるわけですが、思いが伝わらなかったこともありました。

-----それから米穀バイヤー（帯広）の兼任も経て、札幌地区のデイリーも見ることになります。

**加納** 平成25年11月に「清田店」が開店し、札幌地区で4店舗になりました。専任者が不在でしたので、帯広から指示をする形でした。やはり「現場を見ることが大事」と、札幌転勤を命じられました。平成27年9月です。約2年間、札幌で食品、菓子、米穀を担当しました。単身赴任で新しい土地での生活は、自分の仕事を改めて見つめ直すきっかけとなりました。

-----札幌は今も激戦地区です。

**加納** 思った以上に数字が取れず満足はしていません。その経験を活かしていかなければいけないと思っています。

-----第64期の重点目標の一つに「個々人の成長による商品本部の強化」とあります。

**加納** 商品会議で「バイヤーは、いい商品を安く売

ることが1番」と改めて社長から指示され、各バイヤーと一丸となって進めていきたいと思っています。ロス管理は、廃棄ロス、値引ロス、試食ロスとありますが、現場で商品分析をしながら見極めることができます。的確なアドバイスができるよう、常に数値を把握していきます。また、新店や改装時の売場作りが刺激になっています。特売価格も大事ですが、今は特売だけではお客様は来店しません。新鮮で安心な商品を提供し続けるために、現場とのコミュニケーションを大事にして品質向上を目指します。人と接することが好きなので、情報を仕入れたら、まずは現場に提供して、やりがいを感じるようフォローしていきたいです。



加納 充

（帯広本部 商品第一部デイリー課課長兼酒類課課長（全社））

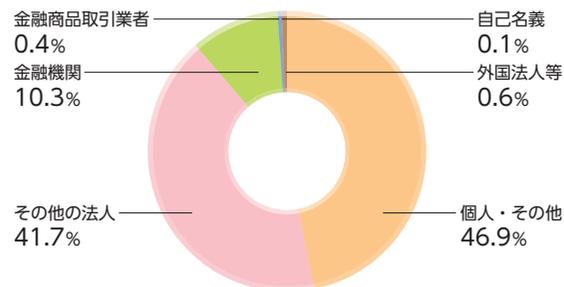
株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 12,000,000株  
 発行済株式の総数 5,719,320株  
 株主数 3,685名  
 大株主 (上位10名)

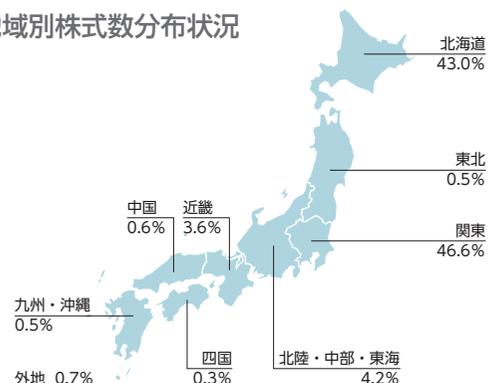
株主名	持株数	持株比率
株式会社イトーヨーカ堂	1,716,000株	30.03%
ダイイチ取引先持株会	238,700	4.17
若園 清	128,900	2.25
小西 典子	128,110	2.24
小西 保男	108,078	1.89
株式会社北陸銀行	96,520	1.68
株式会社北洋銀行	93,000	1.62
笹井 俊治	87,484	1.53
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	86,400	1.51
国分北海道株式会社	82,000	1.43

(注) 持株比率は自己株式 (6,043株) を控除して計算しております。

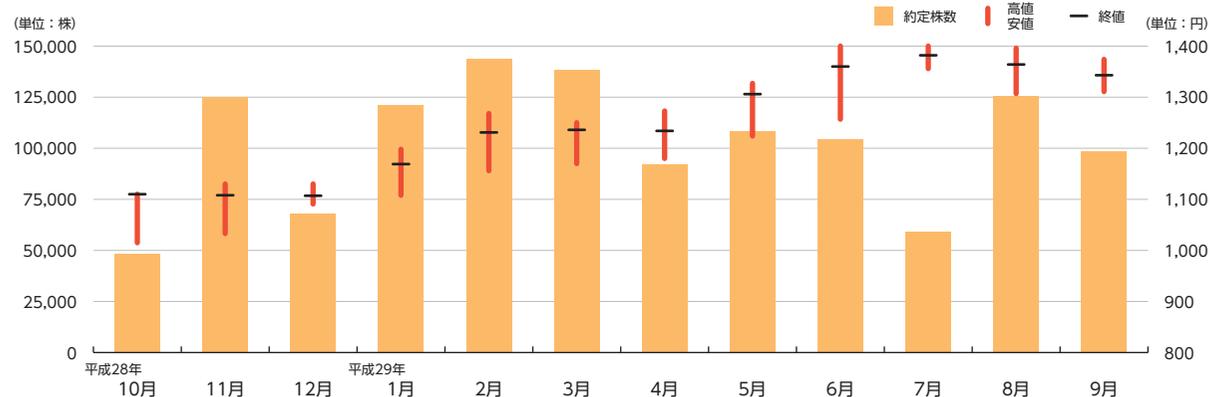
所有者別株式数分布状況



地域別株式数分布状況



株価チャート



株主様向けアンケート

株主の皆様のお声を聞かせください。ご協力よろしくお願ひします。

1 株主様アンケートは、当社のホームページが入口となっております。

<http://www.daiichi-d.co.jp/>

2 URLにアクセスしていただきますと、下記のバナーがあります。



3 バナーをクリックすると、下記の画面が表示されます。



4 アクセスコードを入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

アクセスコード **7643sk!w**

アクセスコードは半角英数字でご入力ください。

アンケートにご回答いただいた株主様の中から、抽選で60名様に図書カード1,000円分を進呈させていただきます。

※アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約1か月の平成30年1月31日までです。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いします。なお、昨年のアンケート結果は、当社のホームページ (IR情報のIRライブラリー) でご覧いただけます。

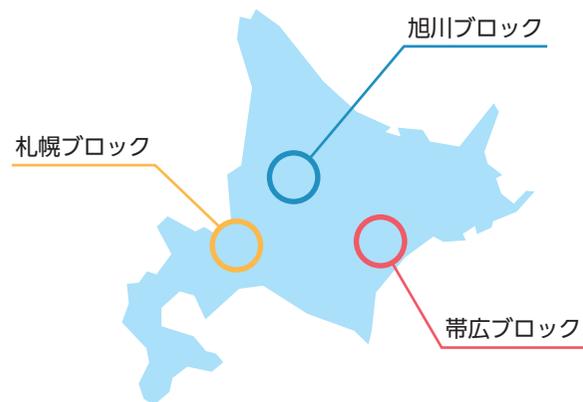
## 会社概要 (平成29年9月30日現在)

商号	株式会社ダイイチ
本社所在地	北海道帯広市西20条南1丁目14番地47
会社設立	昭和33年7月11日
資本金	1,639,253千円
社員数	283名 (正社員) 1,066名 (パートナー社員等、8時間換算)
主要な事業内容	当社は、食料品主体のスーパーマーケットを展開しており、これに附帯する業務として不動産賃貸業務等を行っております。

## 役員 (平成29年12月22日現在)

代表取締役社長	鈴木 達 雄
代表取締役専務	若園 清
常務取締役	川瀬 豊 秋
常務取締役	中本 泰 廣
取締役	野口 一
取締役相談役	小西 保 男
社外取締役	宮川 明
社外取締役	井雲 康 晴
常勤監査役	堀内 健 三
社外監査役	佐藤 裕
社外監査役	笹井 祐 三

## 事業所一覧 (平成29年12月22日現在)



### 帯広ブロック

壱号店	帯広市西1条南10丁目14
東店	帯広市東4条南12丁目1
啓北店	帯広市西12条北4丁目1
めむろ店	河西郡芽室町東6条9丁目1
白樺店	帯広市白樺16条西2丁目2
みなみ野店	帯広市南の森東1丁目1
札内店	中川郡幕別町札内共栄町164
自衛隊前店	帯広市西18条南27丁目1
音更店	河東郡音更町木野大通東12丁目3
オーケー店	河東郡音更町木野大通西17丁目1
[センター]	
惣菜センター	帯広市西20条南1丁目14
帯広配送センター	帯広市西20条南1丁目14

(注)平成29年10月6日に、豊岡店を出店いたしました。

### 本社 (営業本部 管理本部)

北海道帯広市西20条南1丁目14-47

### 旭川本部

北海道旭川市春光1条8丁目1-77

### 札幌本部

北海道札幌市西区八軒10条東5丁目2

### 旭川ブロック

西店	旭川市2条通4丁目134
東光店	旭川市東光12条6丁目203
末広店	旭川市末広1条7丁目265
東旭川店	旭川市東旭川北1条1丁目3
旭町店	旭川市旭町1条7丁目2631
二条通店	旭川市2条通23丁目110
花咲店	旭川市春光1条8丁目1-77
豊岡店	旭川市豊岡3条4丁目4-5
[センター]	
旭川配送センター	旭川市流通団地2条3丁目15

### 札幌ブロック

八軒店	札幌市西区八軒10条東5丁目2
白石神社前店	札幌市白石区本通13丁目北3番39
発寒中央駅前店	札幌市西区発寒10条3丁目1-11
清田店	札幌市清田区清田2条3丁目
恵み野店	恵庭市恵み野里美2丁目15

## 株主優待のお知らせ

平成29年9月期の株主優待は下記のとおりです。

■ 1,000株未満保有の株主の皆様へは年次報告書（本誌）に同封しております。

所有株式数	VJAギフトカード	所有株式数	VJAギフトカード
100～499株	 1,000円分	500～999株	 2,000円分

■ 1,000株以上保有の株主の皆様は選択制となりますので、平成30年1月末日までに同封されたお申込み書のはがきをご返送ください。

お申込み書のはがきに必要事項をご記入いただき、プライバシー保護シールを貼ってポストへご投函ください。

株主様向けアンケート（当社のホームページ）からもお申込みができます。なお、はがきとインターネットの両方が届いた場合は、インターネットを優先とさせていただきます。

所有株式数  1,000株以上	A VJAギフトカード  4,000円分	or	B 当社商品券  4,000円分	or	C グリーンアスパラ 2L 1.5kg 	or	D だんすけ西瓜 1玉 	or	E メロン (夫婦キングルビー) 2玉 	or	F 北海道旬の味覚 (農産物セット) 約14kg 
	いずれかひとつお選びいただけます。										
商品の発送	2月初旬		2月初旬		収穫時季の 5月下旬～6月初旬		収穫時季の 7月下旬		収穫時季の 7月下旬		収穫時季の10月中

希望申込受付期間  
お申込みがない場合

平成30年1月末日到着分まで

- ①店舗のある地域（十勝総合振興局管内、上川総合振興局管内、石狩振興局管内）の株主様に対し、当社商品券を贈呈します。
- ②店舗のない地域の株主様に対し、北海道特産品メロン2玉を贈呈します。

個人情報について

注 意 事 項

いただいた個人情報は、この優待商品のお届けのみに利用させていただきます。

- ・株主名が法人の場合、会社名をお書きください。（社長様名だけではわかりかねます。）
- ・ご希望の時間にはお届けできない場合がありますので、ご了承ください。

## 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先（注）	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

(注) 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

### 【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求等）につきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。  
特別口座（※）に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード） 証券会員制法人札幌証券取引所
証券コード	7643
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.daiichi-d.co.jp/IR/ir/account.html">http://www.daiichi-d.co.jp/IR/ir/account.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

※ 特別口座とは、株券電子化施行までに証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主等の権利を保全するために開設した、口座のことです。法令に従い、名義人名で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座に記載されています。配当金は受け取れますが、株式の売買はできません。証券口座への振替が必要となりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

### 【少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて】

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。  
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## 期末配当金のお支払について

第63期の期末配当金は、平成29年12月22日の定時株主総会にて承認されましたので、1株につき20円を次の方法によりお支払いいたします。

### 1. 銀行口座への振込をご指定の株主様

同封の「第63期期末配当金計算書」とおり「配当金振込先ご確認」のご案内に記載の口座へお振込いたしましたので、ご確認ください。

### 2. 振込をご指定されていない株主様

第63期期末配当金の「期末配当金計算書」とともに「期末配当金領収証」を同封しております。銀行払い渡し期間（平成29年12月25日～平成30年1月24日）に、**最寄りのゆうちょ銀行の本支店及び出張所並びに郵便局でお受け取りください。**

### 3. 証券口座でお受け取り（株式数比例配分方式）の株主様

お取引のある証券会社へご確認ください。

### 4. 同封の「期末配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねておりますので、確定申告の資料としてご利用いただけます。



TEL 0155-38-3456（代表）  
FAX 0155-38-3434  
<http://www.daiichi-d.co.jp/>  
本誌に関するお問い合わせは、企画IR部までお願いいたします。

